



2024年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年8月9日

上場会社名 PCIホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3918 URL https://www.pci-h.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 横山 邦男
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画本部長 (氏名) 井口 直裕 (TEL) 03-6858-0530
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年9月期第3四半期の連結業績(2023年10月1日~2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第3四半期	18,519	△12.5	697	△45.9	702	△46.4	356	△36.9
2023年9月期第3四半期	21,169	14.4	1,289	16.7	1,311	11.8	565	△18.2

(注) 包括利益 2024年9月期第3四半期 557百万円(△25.0%) 2023年9月期第3四半期 743百万円(△5.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2024年9月期第3四半期	円 銭 35.89	円 銭 —
2023年9月期第3四半期	56.14	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益につきましては、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
2024年9月期第3四半期	百万円 15,889	百万円 9,078	% 54.2	円 銭 868.74
2023年9月期	17,627	9,098	48.7	852.10

(参考) 自己資本 2024年9月期第3四半期 8,604百万円 2023年9月期 8,587百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年9月期	円 銭 —	円 銭 16.00	円 銭 —	円 銭 17.00	円 銭 33.00
2024年9月期	—	17.00	—	—	—
2024年9月期(予想)	—	—	—	28.00	45.00

(注) 1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2 2024年9月期期末配当金の内訳 普通配当 18円00銭 記念配当 10円00銭(創業第20期記念配当)

3. 2024年9月期の連結業績予想(2023年10月1日~2024年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,300	△11.2	1,030	△39.8	935	△47.3	770	△23.6	77.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年9月期3Q	10,122,400株	2023年9月期	10,322,400株
② 期末自己株式数	2024年9月期3Q	217,695株	2023年9月期	244,785株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年9月期3Q	9,938,584株	2023年9月期3Q	10,071,145株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(重要な後発事象)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間（2023年10月1日～2024年6月30日）における我が国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の増加等により、一部足踏みがみられるものの緩やかな回復基調となりました。一方で、地政学リスクの長期化や物価上昇、金融資本市場の変動等の影響もあり、依然として先行き不透明な状況下で推移いたしました。

当社グループが属する情報サービス産業におきましては、社会全体で進展しているデジタル化や、進展が著しい生成AI等の先端技術を活用したDX推進を背景にIT投資需要は堅調に推移いたしました。しかしながら、IT人材不足は常態化しており、特に先端IT人材の確保とリスクリングによる技術力向上が課題となっております。

このような状況下において、当社グループは、2023年11月15日に公表いたしました当事業年度を初年度とする3ヶ年の中期経営計画「PCI-VISION 2026」に基づき、既存事業の深化とともに持続的成長及び収益の「質」向上を目指し、「①パーパス経営の実践」「②高収益体質へのシフト」「③人的資本経営の高度化」「④サステナブル経営の深化」これら4項目を基本コンセプトとした事業活動を推進してまいりました。

しかしながら、前事業年度において株式会社りーふねっとの全株式を売却し、同社が連結から除外されたこと及び組込PC/コントローラ分野において前期は一過性の大量納品案件による売上計上があったこと等により売上高は前年同期には至りませんでした。また、外注費の上昇に加え、業務環境改善のための設備投資、研究開発投資、人的投資等の事業成長に資する販管費の増加により、各段階利益につきましても前年同期には至りませんでした。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は18,519百万円（前年同期比12.5%減）、営業利益は697百万円（前年同期比45.9%減）、経常利益は702百万円（前年同期比46.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は356百万円（前年同期比36.9%減）となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、セグメントを従来の「ITソリューション事業」「IoT/IoEソリューション事業」「半導体トータルソリューション事業」から、「エンジニアリング事業」「プロダクト/デバイス事業」「ICTソリューション事業」の3つのセグメントに変更しております。

以下の売上高及びセグメント利益の前年同期比は、前期首にセグメント変更があったものとみなして算定しております。

（エンジニアリング事業）

エンジニアリング事業につきましては、売上高は10,104百万円（前年同期比3.0%増）となり、セグメント利益は758百万円（前年同期比10.7%減）となりました。

エンベデッド分野において、特に自動車関連におけるAUTOSAR（※1）関連やBEV（※2）関連開発の引き合いが強く、積極的な技術者シフト等、モビリティ案件拡大に注力したことにより好調に推移いたしました。また、エンタープライズ分野においては、企業の継続的なデジタル化・DXの推進加速を背景に、産業・流通向けソフトウェア開発案件が好調に推移した一方、一部案件において進捗の遅れが発生したことに加えて人件費及び外注費の上昇が利益を圧迫し、セグメント利益は前年同期比減となりました。

（プロダクト/デバイス事業）

プロダクト/デバイス事業につきましては、売上高は6,412百万円（前年同期比15.3%減）となり、セグメント利益は278百万円（前年同期比5.5%増）となりました。

組込PC/コントローラ分野につきましては、計画上見込んでいた通り、顧客企業の一時的な在庫調整や前期の一過性の大量納品案件における売上計上の反動、低採算案件の縮小により売上高は前期に比べて減少いたしました。また、円安の影響により部材仕入コストが増加したものの、その抑止策や販売価格の適正化に注力したことが奏功し、利益率は若干ながら改善基調となりました。

半導体設計・テスト分野につきましては、車載やインフラ、IoT等に係る半導体潜在需要は引き続き底堅くあるものの、既存顧客の開発計画見直しの影響による非稼働人員の発生により利益率が低下いたしました。

(ICTソリューション事業)

ICTソリューション事業につきましては、売上高は2,080百万円(前年同期比46.2%減)となり、セグメント利益は230百万円(前年同期比69.6%減)となりました。

IoT分野では主に建機向け受託開発案件が堅調に推移いたしました。ソリューション分野では、自社開発生鮮流通向けソリューションの販売及びプラットフォーム関連の構築案件が売上に寄与いたしました。しかしながら、メインフレーム系ソリューションについては、主力商材の販売が概ね計画通りであったものの、高利益率のスポット大型案件を受注した前年同期には至らず減収・減益となりました。また、前連結会計年度において株式会社リーフネットの全株式を売却したことから当セグメントにおける業績の剥落により、売上高及びセグメント利益ともに減少いたしました。

(注) 上記に用いられる用語の説明は以下のとおりであります。

(※1) AUTOSAR : (AUTomotive Open System ARchitecture)

自動車業界のソフトウェア開発の効率化を図るために、車載ソフトウェア開発の共通化を目指したプラットフォームのこと。

(※2) BEV : (Battery Electric Vehicle)

バッテリー式電気自動車。外部から充電した電気を動力源としてモーター走行する自動車のこと。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、15,889百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,738百万円減少いたしました。

流動資産につきましては、現金及び預金1,021百万円、受取手形、売掛金及び契約資産710百万円の減少等により、前連結会計年度末に比べ1,428百万円の減少となりました。

固定資産につきましては、有形固定資産2百万円の増加、無形固定資産134百万円の減少、投資その他の資産177百万円の減少により、前連結会計年度末に比べ309百万円の減少となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、6,810百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,718百万円減少いたしました。

流動負債につきましては、買掛金273百万円、1年内返済予定の長期借入金347百万円、未払法人税等257百万円、賞与引当金404百万円の減少等により、前連結会計年度末に比べ1,362百万円の減少となりました。

固定負債につきましては、長期借入金341百万円の減少等により、前連結会計年度末に比べ356百万円の減少となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は9,078百万円となり、前連結会計年度末に比べ19百万円減少いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益356百万円、その他有価証券評価差額金218百万円の増加の一方で、配当金の支払339百万円、自己株式の取得199百万円による減少等があったことによるものであります。

この結果、自己資本比率は54.2% (前連結会計年度末は48.7%) となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年9月期の連結業績予想につきましては、2023年11月10日付「2023年9月期 決算短信」にて公表いたしました通期の業績予想から修正を行っております。詳細につきましては、本日公表の「特別利益(投資有価証券売却益)の計上見込み及び2024年9月期 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,108,259	3,086,984
受取手形、売掛金及び契約資産	4,751,694	4,041,505
電子記録債権	1,698,818	1,583,432
棚卸資産	1,347,537	1,586,562
その他	599,358	778,580
流動資産合計	12,505,669	11,077,064
固定資産		
有形固定資産	854,696	857,381
無形固定資産		
のれん	1,779,769	1,643,738
その他	67,652	69,442
無形固定資産合計	1,847,422	1,713,181
投資その他の資産	2,418,442	2,240,530
固定資産合計	5,120,561	4,811,092
繰延資産	1,322	1,009
資産合計	17,627,554	15,889,166
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,057,500	1,784,497
電子記録債務	927,572	779,049
1年内償還予定の社債	30,000	30,000
1年内返済予定の長期借入金	803,570	456,226
未払金	513,206	534,804
未払法人税等	284,256	26,421
賞与引当金	546,178	141,462
役員賞与引当金	15,030	5,250
資産除去債務	12,632	—
その他	1,808,347	1,878,365
流動負債合計	6,998,293	5,636,076
固定負債		
社債	75,000	45,000
長期借入金	680,892	339,350
役員退職慰労引当金	47,410	37,000
退職給付に係る負債	155,844	152,724
資産除去債務	467,411	469,263
その他	104,050	131,027
固定負債合計	1,530,609	1,174,365
負債合計	8,528,903	6,810,442

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,091,897	2,091,897
資本剰余金	3,667,601	3,516,644
利益剰余金	3,075,602	2,997,514
自己株式	△317,778	△257,544
株主資本合計	8,517,322	8,348,512
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	139,846	357,965
退職給付に係る調整累計額	△70,060	△101,821
その他の包括利益累計額合計	69,785	256,143
新株予約権	40,677	41,939
非支配株主持分	470,865	432,128
純資産合計	9,098,650	9,078,724
負債純資産合計	17,627,554	15,889,166

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)
売上高	21,169,292	18,519,626
売上原価	15,885,808	14,245,974
売上総利益	5,283,484	4,273,652
販売費及び一般管理費	3,994,160	3,576,626
営業利益	1,289,323	697,025
営業外収益		
受取利息及び配当金	20,144	23,281
投資事業組合運用益	883	—
助成金収入	6,344	10,421
その他	3,741	16,783
営業外収益合計	31,114	50,486
営業外費用		
支払利息	6,049	4,547
支払手数料	385	26,786
投資事業組合運用損	—	4,554
その他	2,744	8,979
営業外費用合計	9,180	44,867
経常利益	1,311,258	702,644
特別利益		
投資有価証券売却益	—	22,004
特別利益合計	—	22,004
特別損失		
固定資産除却損	3,783	13,494
投資有価証券評価損	—	37,421
特別損失合計	3,783	50,916
税金等調整前四半期純利益	1,307,475	673,733
法人税、住民税及び事業税	363,724	125,455
法人税等調整額	311,028	177,034
法人税等合計	674,752	302,490
四半期純利益	632,722	371,242
非支配株主に帰属する四半期純利益	67,347	14,582
親会社株主に帰属する四半期純利益	565,375	356,660

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	632,722	371,242
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	145,404	218,119
退職給付に係る調整額	△35,022	△31,761
その他の包括利益合計	110,382	186,358
四半期包括利益	743,105	557,601
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	675,757	543,018
非支配株主に係る四半期包括利益	67,347	14,582

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	エンジニア リング事業	プロダクト/ デバイス事業	ICTソリュー ション事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	9,772,278	7,565,112	3,831,901	21,169,292	—	21,169,292
セグメント間の内部売上高 又は振替高	34,486	5,988	34,362	74,837	△74,837	—
計	9,806,765	7,571,100	3,866,263	21,244,129	△74,837	21,169,292
セグメント利益	849,546	263,637	759,984	1,873,169	△583,845	1,289,323

(注) 1. セグメント利益の調整額△583,845千円には、のれんの償却額△157,876千円、各報告セグメントに配分していない全社費用等△425,968千円が含まれております。全社費用は、主に当社(持株会社)運営に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

重要性が乏しいため記載を省略しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2023年10月1日 至 2024年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	エンジニア リング事業	プロダクト/ デバイス事業	I C Tソリュー ション事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	10,081,994	6,392,024	2,043,820	18,517,839	1,787	18,519,626
セグメント間の内部売上高 又は振替高	22,748	20,113	36,227	79,089	△79,089	—
計	10,104,742	6,412,137	2,080,048	18,596,928	△77,301	18,519,626
セグメント利益	758,560	278,211	230,761	1,267,532	△570,507	697,025

(注) 1. セグメント利益の調整額△570,507千円には、のれんの償却額△136,031千円、各報告セグメントに配分していない全社費用等△434,476千円が含まれております。全社費用は、主に当社（持株会社）運営に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、事業セグメントの区分方法を見直し、報告セグメントを従来の「ITソリューション事業」、「IoT/IoEソリューション事業」、「半導体トータルソリューション事業」の3区分から「エンジニアリング事業」、「プロダクト/デバイス事業」、「ICTソリューション事業」の3区分に変更しております。

当社は、当連結会計年度から開始した新中期経営計画「PCI-VISION2026」により、当社グループの事業ドメインについて見直しを行いました。具体的には、主力事業である受託ソフトウェア開発等の「エンジニアリング事業」と組込PC/コントローラ開発や半導体設計/テスト等の「プロダクト/デバイス事業」を事業ポートフォリオ上の安定コア事業と位置付け、AIやIoTに係るソリューション開発及びサービスインテグレーションを始めとする「ICTソリューション事業」を中長期的な成長ドライバーとして位置付けております。

この認識の下、セグメント毎の事業内容や戦略の明確化、経営資源の配分及び業績進捗をより適切に管理・開示するため、上記のように報告セグメントを変更することが合理的であると判断いたしました。

また、セグメントの内容変更を契機に、従来、各セグメントへ配賦しておりました当社からの経営指導料及びのれんの償却額について、セグメント別のパフォーマンスをより適切に評価する観点から経営管理上の取扱いを変更し、第1四半期連結会計期間より調整額の項目に含めて表示することといたしました。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分及び表示の方法により作成したものを記載しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

重要性が乏しいため記載を省略しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	125,708千円	110,237千円
のれんの償却額	157,876	136,031

(重要な後発事象)

(株式会社レスターによる当社株式に対する公開買付けに関する意見表明、同社との資本業務提携契約の締結)

当社は、本日開催の取締役会において、株式会社レスター（以下「公開買付者」という。）による当社の普通株式に対する公開買付け（以下「本公開買付け」という。）に賛同する旨の意見を表明するとともに、当社の株主の皆様が本公開買付けに応募するか否かについては、中立の立場を取り、当社の株主の皆様のご判断に委ねること、及び公開買付者との間で資本業務提携契約を締結することを決議いたしました。

詳細につきましては、本日公表の「株式会社レスターによる当社株式に対する公開買付けに関する賛同及び応募中立の意見表明並びに同社との資本業務提携契約の締結に関するお知らせ」をご参照ください。